



出前授業「もしも、ライフラインが使えなくなったら…」

総合的な学習の時間の学習に、広島ガス株式会社から講師をお迎えして、出前授業「広島ガス防災教室」をしていただきました。「災害が起きたとき、もしもライフラインが止まってしまったらどうすればいいのかな。」という子ども達の疑問から実現した授業でした。今回は、「もしもガスが止まってしまったら…」を中心に、実際に使われているガス管の素材や仕組みについてやガスメーターの自動復旧機能についてなど、現物を見たり触らせてもらったりしながら学ぶことができました。また、クイズ形式で避難や仕組みについて学ぶコーナーもあり、知らなかったことや興味を持ったところではしっかりメモを取ることもできていました。

休憩時間には、「休憩だから、話が聞ける！」と担当の方に直接質問をしたり、「近くで見てみたい！」と見本として持って来てくださっているものを触らせてもらったりする姿がたくさんありました。

これまで子どもたちは、自分が知りたいと思うことを調べながら、「キッズ防災士として、がんばらなきゃ！」という気持ちで学習を進めていました。そのため、たくさんメモをしたり、キラキラした目で話を聴いたりすることができました。

授業の後、「防災についての知識も持っているし、やる気満々だし、とても素敵な子ども達ですね。」というお褒めの言葉をいただきました。主体的に、自分事として学習を進めることができた証だと思います。これから、さらに学習を進めていきます。

【振り返りより】

- 広島県は土砂災害が一番多い県だと知っておどろきました。父と母は、「大丈夫」と災害のことをあまく見ていたので、今日分かったことを伝えたいです。「もしもライフラインがなくなったら」を考えて、新聞紙のお皿を使って食べたりしてみたいです。
- 防災グッズは専用の物をわざわざ買わなくてはいけないと思っていたけれど、いろんなもので代用できることを知っておどろきました。私の家には、防災バッグがないので、家に帰ったら作ってみようと思いました。
- ガスはわざとにおいをつけていることやガスが止まった時に復帰させる方法を知って、広島ガスの方はいろいろな工夫をして私たちの生活を守ってくださっているということが分かりました。
- 災害が起きた時、カセットコンロでご飯が炊けることが分かりました。そのやり方も教えてもらえてよかったです。
- ライフラインが止まった時のことを考えて、ふだんから備えることが大切だということがとてもよく分かりました。家族にもこのことを伝えて、一人でも多くの人を救っていきたいです。
- はじめに「子どもでも地域の人を救える」と教えてもらって、とてもびっくりしました。クイズに答えていると、お母さんが間違っていたことがあったので、教えてあげたいです。
- ガスメーターは、地震が起きたときに自動でガスを止めてくれる機能があることを、お母さんに伝えたいです。
- ガスメーターなどはお父さんやお母さんにお任せと思っていたけど、今日やり方を学んで自分でもできると思ったので、いざというときにはやりたいと思いました。



水泳の学習がはじまりました。

体育科「水泳」がはじまりました。用具の準備や名前の取り付けなど、ご準備をありがとうございました。梅雨時期ということで、なかなか思うような学習ができませんが、安全第一で学習を進めていきます。お家でも、話を聞いてみてくださいね。



「第25回筆の里ありがとうのちょっと大きな絵てがみ大賞」にチャレンジ!

図画工作・書写・道徳の学習の一環として「ありがとう」をテーマに、絵てがみにチャレンジし「第25回筆の里ありがとうのちょっと大きな絵てがみ大賞」に応募します。

半紙の2倍以上ある上質の和紙に、普段から感じている「ありがとう」を表現します。習字の筆と墨汁を使って絵を描き、ありがとうのメッセージを付け加えます。筆を置く向きや筆を引く速さなどで、さまざまな表現ができるとても楽しい学習です。7月の個人懇談会の時に、掲示できるように仕上げます。お楽しみに!